



碧南ロータリークラブ週報

第2531回例会 平成23年1月19日(水)

● 会長 奥田 雪雄 ● 幹事 新美 宗和 ● 会場監督 (SAA) 伊藤 正幸

2010-2011年度 国際ロータリーのテーマ

■ 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
 ■ 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90
 TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
 ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>
 E-mail: info@hekinan-rc.jp



■ 会報委員 新美雅浩・鈴木健三・西脇博正・菅原 優

● 齊 唱

ロータリーソング「我等の生業」

● 本日のお客様

日高RC (埼玉県) 原田邦義君

● 本日のメニュー

へきなんの人参弁当 とんがり帽子



加藤良邦君



米山功労者

感謝状贈呈

- ・マルチプル・ポール・ハリス・フェロー…加藤良邦君
- ・米山功労者…森田雅也君、長田和徳君、榊原 健君、鈴木健三君、栗津康之君、黒田泰弘君

退会挨拶

小林克成君



小林克成君

会長挨拶

先日、何気なく某テレビ番組を見ていましたところ、「恋人」と「友人」の違いについて尋ねる企画がございました。答えは「肉体関係があると恋人、ないと友人」だそうです。ところで、万葉集にも「寝る」という表現が結構、多く出て参ります。

人の見る 上は結びて 人の見ぬ 下紐開けて 恋ふる日ぞ多き

柿本人麿呂歌集より



奥田雪雄会長

人の目につく上着の紐はきちんと結んでいますが、人には見えない下着の紐は解いて、あなたを恋しく思う日が多いという歌です。もちろん、女性の歌ですが、今も万葉の時代も女性は強いのです。

戦前の学生たちに影響を与えた劇作家、評論家の倉田百三氏は、「快樂は恋愛を墮落させる」という意味の言葉を残しておりますが、快樂が恋愛の大きな要素であるということは、偽らざる真実だと思います。

平年より一日早く、流水初日が本日、発表されましたが、明日は大寒で一番、冷え込み寒さの厳しい時期でございますので、どうぞ、お身体を大切になさってください。

幹事報告

・例会変更等は幹事報告書のとおりです。



新美宗和幹事

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数70名(内出席免除者16名の内出席者12名)出席者55名	
出席対象者 55/65名	出席率 84.62%
欠席者15名(病欠者1名)	前々回修正出席率 100%

〈ニコボックス委員会〉

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

日高RC 原田 邦義君 お世話になります。

鈴木 並生君 1月12日開催の交通安全県民大会において安協碧南支部が表彰されました。皆様方のおかげです。感謝します。

長田 和徳君 本日、卓話をさせていただきますので、よろしくお願い致します。

小林 克成君 本日が最終となります。約1年半の短い間でしたが、お世話になりました。皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げます。

卓話

「中国最新事情 –最も近くて遠い隣人–」 長田 和徳君 (中国人の気質について)

2002年に中国へ当社が進出して、早9年目を向かえることになりました。日頃から中国で仕事をしていて、中国人と日本人は見た目は同じアジア人ではありながら、考え方や習慣は全く異質なもので理解に苦しむことがあります。中国人の気質を知ることが、今後の中国でのビジネスを進めるにあたって重要であると思います。



長田 和徳君

(貝と羊の中国人)

2006年に新潮新書から出版された加藤徹氏著書の「貝と羊の中国人」を読んで今までの中国人の気質が明快になりました。中国人の根底には農耕民族の貝の文化と、騎馬民族の羊の文化の2面が存在しているとのことでした。

貝の文化とは、殷王朝の時代を指し本拠地は、豊かな東方の地だった。このため、彼らは目に見える財貨を重んじました。昔から中国沿海部は比較的豊かで、経済など中国の発展を先導する。有形のものを重視する殷の貝の文化は、現在に至るまで脈々と受け継がれている。中国でとれないサクラ貝が貨幣のはじまりであり、「財」、「貨」、「賢」といったように貝の入っている漢字はお金を表しています。

一方、周の祖先は、中国西北部の遊牧民族と縁が深く、血も気質も、遊牧民族的なところがあった。豊かでない大草原や砂漠を移動する遊牧民は、「空から大きな力が降ってくる」という普遍的な一神教を信じやすい。周人が信じた「天」に受け入れられるためには、無形の善行を積み重ねなければならないのです。このことから、無形の良いことを表す、「義」、「美」、「善」といった漢字には「羊」が使われています。

中国人には相対するような2面が混在しているということを前提に対応すべきではないでしょうか。

(中国人はみんな共産黨員？)

ご存知のとおり、中国は共産党の一党独裁です。しかし共産黨員は7000万人に過ぎず、人口の5%足らずに過ぎません。基本的には世襲制であり、最近では中小企業の社長など会費を高額の共産党費を収めることが出来ることのみに限られます。私の会社もそうですが、100名以上の従業員のある会社は組合を作る必要があるのですが、その組合のトップに地元の共産黨員が割り当てられますが、年に1回会えばいいほうです。

中国共産党の組織は中央政治局の常任委員会の9名で、すべてが決められます。常任委員会は68歳で引退することが暗黙の了解で決まっており、今年は胡錦濤主席を含む7名が引退することになります。残った2名の内序列から習近平氏が次世代の共産党のトップに就くと思われております。

(中国の経済は絶好調？)

2010年にGDPで日本を抜き中国が世界で第2位になりました。しかしながら中国と日本の人口は10倍の差があるため、国民一人当たりで考えるとまだまだ日本の方が豊かではあります。急成長を始めたのは2005年以降であり、中国政府としては13億人で毎年2000万人の雇用増加を維持するためには年率8%の成長が絶対条件であるという「保八」政策を推進しているのも影響していますが、中国の景気は本当に凄まじい物があります。

中国の景気が一番恩恵を受けているのは実は、日本なのです。対中国は赤字に見えるが、香港を含めると2兆円の黒字になります。中国は組み合わせをする技術はありますが、その主要部品は日本が握っているため、いちばん美味しいところは日本が持っているのです。日本の経済も中国無くしては成り立たないのが実情です。

日本人は、多分中国人に大してあまり良い印象を持っていませんが、中国人の気質を理解して、仲良く付き合っていくべきではないでしょうか。

次回例会案内 平成23年2月2日(水) クラブフォーラム
「ポリオプラスについての私見 –最近の感染症の話題を含めて–」
国際奉仕委員長 山中寛紀君